

コロナ禍を通して「かわりゆく」祭りと地域の関わり方、



今回関係者の方にお話を伺う中で、「まつり」について、ある人は「粋^{いき}」であり、またある人は「交流の場」であると答えてくださいました。

その答えの根底にあるのは、「まつり」は新たな「つながり」を生む場でもあり、そして改めて地域との「つながり」を再確認できる場である、との思いでした。

その「つながり」を風化させないために、祭りの「伝統」をつないでいく必要があるのだと思います。

「まつり」は、その「伝統」を通して「つながり」を生み、「つながり」は地域をはぐくみます。

3年ぶりに開催された「まつり」。

そこで紡がれた「伝統」と「つながり」が

コロナ禍を打倒する地域のチカラ

となることを信じてやみません。

まつりは、
つながり

「まつり」とは
皆さんにとって、
どんな存在ですか？

しかし当日は、以前と「かわらない」はじけるような皆さんの笑顔がありました。